

2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



記 入 日 2012 年 11 月 27 日

実践団体名		熊本県立熊本支援学校	
連絡先		代表者：学校長 西川高光、担当者：武田崇弘	
プランタイトル		障がいのある子どもたちの防災・防犯 ～特別支援学校における取組～	
	番号 ※	詳細	
1 プランの対象者	8,9	本校児童生徒、職員、保護者を対象として活動。	
2 対象災害種別	5	部外者による犯罪被害。	
3 プランの目的	2,4,7,8,9	危機管理意識向上、諸対応経験、円滑な情報管理を目指す。	
4 協力・連携先	5,7	警察関係者、危機管理教育研究所国崎様より協力。	
5 プログラムの種類	3,16	講師による講演会や対応訓練を中心にプログラムを計画。	
参考 先進 事例	活動年度	H19 年	団体名 社会福祉法人 藤山保育園
	参考内容	研修や実践できるノウハウを学び、子どもを守るためにどうすればいいかを考えて理解し、行動に移せるようにする。	

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

地域特性に応じた アレンジ・工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・市中心部に位置し、外部からの出入りが多い。 ・障がいのある児童・生徒を守るために、暗号や声かけの方法などの対応方法に関して工夫していく。さらに自分で身を守るための学習も工夫していく。
実施スケジュール 内容・成果 ※	<p>4 月：訓練内容の実施に向けた打ち合わせ ⇒事前のスケジュールと実施計画の調整、救急グッズマップの試作と試験運用。</p> <p>4 月：『児童生徒不明時緊急搜索訓練』 H24/4/11、H24/4/25。 ⇒『学校内搜索』と『学校外搜索』を行った。時間経過と共に搜索段階を変更し、警察に通報するまでの動き等を確認。</p> <p>4～5 月：訓練後の意見収集、次訓練の計画、講師との打ち合わせ ⇒実施内容の検討、マニュアルや使用物品等の再確認、聴き取りシートの試作。</p> <p>6 月：『不審者対応訓練(講師:森田様(警察))』 H24/6/11。 ⇒各学部に分かれて、さすまたや身近な物での対応方法を学ぶ。また、外部評価と学校の取り組み紹介の視点から P T A の保護者も参加いただいた。</p> <p>6～7 月：訓練後の意見収集、次訓練の計画、講師との打ち合わせ ⇒実施内容の検討、外部評価、マニュアルの再確認、使用物品等の再確認、聴き取りシートの運用開始。</p> <p>8 月：『防犯・防災講演会(講師:国崎様)』 H24/8/6。 ⇒危機管理アドバイザーの国崎信江様をお招きして講演会を実施した。新しい視点の危機管理意識について教示していただき、本校マニュアルへ繋げる。</p> <p>8 月：『各学部における不審者対応訓練』 H24/8/30。 ⇒各学部の児童生徒の実態と日常生活の環境を踏まえて訓練を実施した。</p> <p>8～10 月：訓練後の意見収集、パンフレット作成へ向けた内容の検討 ⇒マニュアルの再検討、実施訓練や外部評価より得られた意見や気づきを基に学校安全につながる事項を考察。</p> <p>11 月：プラン報告書の作成、パンフレット案の作成。 ⇒実施した各訓練や計画内容を整理、意見の総まとめ後、今後の活かしへ。</p>
全体の反省・感想・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・より安全に安心な学校生活のためには、起きた物事に柔軟に対処できる職員の危機管理意識や物事へ対処する経験を育成すること、円滑な情報の連絡のための要点を押さえたデータや資料が必要だということが再確認できた。
今後の継続予定	<ul style="list-style-type: none"> ・各対応訓練の継続実施。 ・危機管理マニュアル、聞き取りシートの見直し改善。 ・施設内設備、備品等の配置確認と安全マップの随時更新。

※ 写真の添付など、枠内に収まらないときは裏面自由記述欄を使用してください。

2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



自由記述欄 (必要に応じ、具体的な活動記録を自由様式で補足添付することが可能です。頁数自由)



緊急搜索訓練 (本部の様子)



不審者侵入時対応訓練(写真左:警察官)



不審者侵入対応時のマニュアル



救急グッズマップ

Blank listening sheet form with columns for '聴き取り内容' and '感想'.

Example of the listening sheet form filled out with text, including a '記入例' header.

聴き取りシート：記入用紙 (左)、記入例 (右)

2012年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

活動記録 記入上の留意点



活動記録の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体内容を記入してください。

1. プランの対象者について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ()
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

2. 対象災害種別について

	項目		項目
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ()

3. プランの目的について

	項目		項目
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ()

4. 協力連携先

	項目		項目
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO法人・NGO等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ()

5. プログラムの種類について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ()
6	学級活動	12	研究		